

健康を再考する

健康とは？健康であるためには？

看護情報学特論 I

2013年6月20日

修士2年 青木裕見

健康を再考する

- ・ 健康とは？
- ・ 私たちを取り巻くヘルスケア
- ・ 健康であるには？



健康とは？



WHO 健康の定義

1948年の定義

Health is “a complete state of physical, mental and social well-being, and not merely the absence of disease or infirmity.”

身体的・精神的・社会的に完全に良好な状態であり、たんに病気
あるいは虚弱でないことではない

1999年 再定義の提案

Health is “a dynamic state of complete physical, mental, spiritual and social well-being and not merely the absence of disease or infirmity.”

身体的・精神的・霊的・社会的に完全に良好な動的状態であり、
たんに病気あるいは虚弱でないことではない

近代医療

～成立の背景～

【背景】

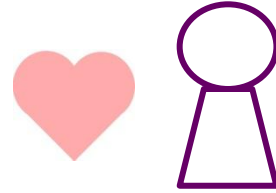
- ガリレオ（1564-1642）クレーター発見，落体の法則
- ニュートン（1643-1727）物理学の祖，ニュートン力学

還元主義 ⇒ 原因を物質的（原料や素材）に分解して解明



キリスト教の世界観

「 体と魂は別のもの 」



- 魂：人間の不滅の本質、死後に報酬か懲罰を受ける
- 肉体：肉体は復活する、体は神聖で犯すべからざるもの



死体であってもメスを入れてはならないとして
解剖は禁止されていた

近代医療

中世から近代へ ～ 自然科学の発達と人体の世俗化

□ ハーヴィー(1578-1657) 1628年 血液循環説

人の体：‘神秘的なもの’ ⇒ ‘観察して分析できるもの’

□ デカルト(1596-1650) 心身二元論

「人の体は、機械的に解明できる」と提唱

□ キリスト教が医師に人体解剖を許可

魂を扱わないのであれば、人の体を解剖してもよい。

人体が科学の対象に ⇒ 医療は還元主義のもとで発達

人体は器械、病気は器械の故障、医師は故障の修理人

近代医療

バイオメディシンの行き詰まり



- 体を細分化して、故障の原因を取り除くことに偏重
- 体中心で、心理的・社会的な側面を見ないという批判
- 体の訴えであっても 心理的・社会的側面もみる こと、
生き方（学び方・働き方）の変容を迫られて、
奮闘するなかで、どう生きていくのかが大事。

Bio-Psycho-Social モデル

8 April 1977, Volume 196, Number 4286

SCIENCE

1977年 英国人医師 エンジェル

*The need for a **new** medical model :
a challenge for **biomedicine**.*

**The Need for a New Medical Model:
A Challenge for Biomedicine**

George L. Engel

new discipline based on behavioral science. Henceforth medicine would be responsible for the treatment and cure of disease, while the new discipline would be concerned with the reeducation of people with "problems of living." Implicit in this argument is the premise that while the medical model constitutes a sound framework within which to understand and treat disease, it is not relevant to the behavioral and psychological problems classically deemed the domain of psychiatry. Disorders directly ascrib-

生物学的な視点に偏っていた医療への挑戦として
新しい医療の視点 “病気をどう捉えるか” を提示

生物学的のみならず、心理学的・社会的な面からも捉える

《 Bio-Psycho-Social モデル 》

Bio-Psycho-Social モデル

人をホリスティック にみる

- ・ 病気をどう感じているか ⇒ どのように語るか 
- ・ 生き方の変容に対して、どのように試行錯誤しているか

人をシステム でとらえる

- ・ すべてのレベル（細胞レベル～文化レベル）は影響し合っている。
- ・ 時間と空間のなかでダイナミックにとらえる。



Bio-Psycho-Social モデルでの 健康

- システムの調和が保たれていること
- 健康を取り戻すとは、自分のなかでも、また他者や環境との関係においても、以前とは異なる調和を奏でること



Lucky Man



画像 Wikipedia より

病気ゆえに、この10年間は人生で最も素晴らしい時間であった。病気は私に、新たな道を歩むという贈り物を与えてくれた。もし、病気にならなかったら、決して歩むことのできなかった道であり、このような豊かな人生は、送れなかっただろう。そう、わたしは幸運な人間だ。

私たちを取り巻くヘルスケア

ヘルスケアの構造

【専門職セクター】 専門職によるヘルスケア

【民俗セクター】 民俗的なヘルスケア

【民間セクター】 個人・家庭内でのヘルスケア

ヘルスケアの構造

【専門職セクター】 専門職によるヘルスケア

- 制度化された現代医療
- 職業化した地域固有の医療

例) 伝統的中国医療、インドのアユルヴェーダ

ヘルスケアの構造

【民俗セクター】 民俗的な医療

世俗的な薬草治療、
宗教に基づいた医療 など

例) スリランカ・シンハラ人の治療儀礼

- ・ 世界観： 仏教、ヒンズー教、
悪魔信仰、頂点にブッダ、底辺に悪魔
- ・ 病気は、悪魔がもたらす ⇒ 悪魔祓いの治療儀礼

例) 青森・イタコ

＜ 青森県内の外来で慢性疾患患者670名に調査 ＞

- ・ 現代医療に満足している…88%
- ・ イタコ、カミサマ を訪れたことがある…35%
- ・ イタコが与えてくれるもの ⇒ 場の安心

言葉だけでなく、狭い音域の語り口、強烈な数珠のリズムなどで構成される場によって、カタルシス的な緊張発散をし、癒されるのではないか。

	伝統的な治療儀礼	現代医療
【治療者】	宗教的職能者	医師
【参加者】	患者・家族・地域住民	患者
【治療の目的】	関係の修復	疾患の除去
【治療の方法】	儀礼（心的・意味的）	身体的・技術的
【治療の場所】	地域	施設
【世界観との つながり】	○	×

ヘルスケアの構造

【民間セクター】個人・家庭内でのヘルスケア

- 症状に気づき、軽重などを評価して次の行動を決める

- 何もしない

- 何らかのヘルスケア希求行動をとる

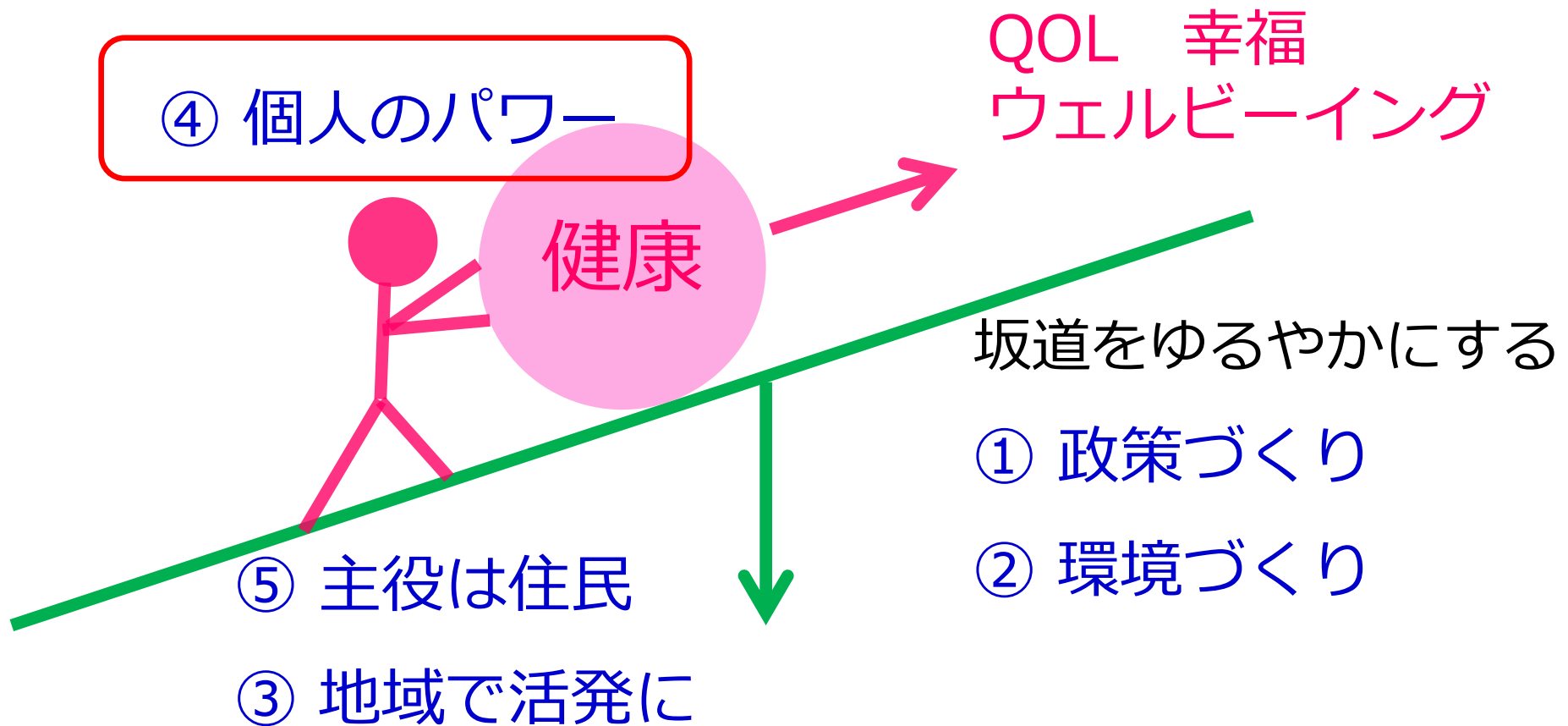
- 例) 薬局で薬を買う、病院に行く、など

- ヘルスケア行動についての評価を行う

‘健康’であるためには？



ヘルスプロモーション



個人のパワーを引き出すには？
⇒個人の好みや生活スタイルを尊重



3つの意思決定モデル

Paternalistic モデル



pater : ラテン語で‘お父さん’、父権主義的に**医師が**決める

Informed Decision Making モデル



十分に informされた情報を基に**患者が**選んで決める

Shared Decision Making (SDM) モデル



十分な情報、患者・医師**双方の好み**や価値をshareして
一緒に決める

Shared Decision Makingの現状



PERSPECTIVE

Shared Decision Making to Improve Care and Reduce Costs

Emily Oshima Lee, M.A., and Ezekiel J. Emanuel, M.D., Ph.D.

A sleeper provision of the Affordable Care Act (ACA) encourages greater use of shared decision making. However, more than 2 years after enactment of the ACA, little has been done to promote shared decision making. In more than 1000 office visits in which more than 3500 medical decisions were made, less than 10%

- オバマ大統領の医療制度改革（2011）でも SDMを推奨
⇒ SDMは‘ ケアの質を上げ、コストを下げる ’
- SDMは患者中心の医療であり、ケアの質が上がる
- 10年間で90億ドル（約7920億円）の医療費削減に

よりよい意思決定のために



意思決定に役立つ情報

【エビデンス】

- エビデンス；「証拠」「科学的根拠」
- ある治療法が、その病気に効果があることを科学的に示した成果のこと
- 実験や調査などの研究結果から導かれた「裏付け」
- エビデンスをもとに作成された治療方針⇒ガイドライン

意思決定に役立つ情報

【ナラティブ】

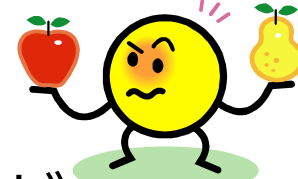


- ナラティブ ; 「物語」 「語られた内容」 「ストーリー」
- 他の人は何を選び、その経験によってどう感じているか
- 経験したことはないことについての予想ができる
- 自分の価値や好みを構築できる
- ただし、語る人のバイアスが入る

“ディシジョンエイド” というツール

ディシジョンエイドとは？

- 意思決定のプロセスで医療者と話し合うときの助けになる
- 治療方法の、エビデンスに基づくベネフィットとリスクが分かる
- 好み・価値観に照らし合わせて治療方法の検討ができる
- 冊子、DVD-based、Web-based など形体はさまざま
- eighth-grade level（中2くらい）でも理解できるような表現で書かれたシンプルなものであるべき



健康を再考する まとめ

- 人をホリスティックに、ダイナミックに捉える
- 個人の好みを反映させて、個人のパワーを増強する
 - エビデンス情報とナラティブ情報の両方を活用
 - 医療者との shared decision making
 - 場の安心 も提供するヘルスケア